

# 泉州の医療改革



日本維新の会

本号では、いとう信久さんの目指す政策などをお伝えします。

# いとう信久

前衆議院議員

のぶ ひさ  
信久

前衆議院議員  
プロフィール

## いとう信久

1964年生まれ、貝塚市在住。  
大阪市立大学大学院医学研究科  
修了、ウイルス学医学博士。  
前衆議院議員(2期)。  
伊東くりにつく みどり診療所(泉  
南)院長 / メゾン・デ・サントネー  
ル泉佐野・阪南 訪問診療医 / 貝  
塚ライオンズクラブ会員 / 泉佐  
野商工会議所会員 / 岬ラグ  
ビスポーツ少年団コーチ

## 消費税減税 税率を10%から5%に!

新型コロナウイルス感染拡大により、社会経済活動が制約されたことによって、多くの国民や中小企業を中心とする事業者は経済的な打撃を受けています。

感染終息の目途が立たない中、現行10%の消費税をまずは2年間、5%に引き下げ景気の下支えを確実に行っていくことが必要です。

## 身を切る改革 国会議員の報酬 2割カットの継続!

日本維新の会の議員は独自に報酬2割削減を続け、国会で問題提議を続けた結果、ついに国会議員の報酬の2割削減が全会一致で可決されました。しかしこの法律改正は、本年11月末までの時限的なものにすぎません。

「身を切る改革」はすべての改革のスタート地点です。日本の統治機構は大きな改革を必要としています。その改革を成功させるためには、まずは政治家自身が自らの身分に切り込み、本気の改革姿勢を示し続けることが必要です。私たちは、国会議員の報酬2割カットの継続を訴えています。



いとう通信 発行元 / いとう信久後援会

いとう信久事務所

〒598-0055 大阪府泉佐野市若宮町7-13 田端ビル 4F  
TEL: 072-463-8777 FAX: 072-463-8776



www.n-ito.jp



facebook.com/nobuhisai



@nobuhisaito11



nobuhisaito

## 1. 新型コロナ被害支援

消費税を5%に一時的に引き下げ

雇用調整助成金、休業補償など既存制度の延長

国産ワクチン・治療薬の開発、生産体制整備

消費税10%から5%に一時的に引き下げ、コロナを乗り越えたら恒久的には8%にすることを推進します。

## 2. 泉州・大阪の医療改革

医療人材育成拠点整備

医薬品開発などの環境を整備

府立病院機構にある感染症研究センターとは別に、大阪公立大学に新たに感染症研究室を設置し、教授を招聘します。人材育成を図り関西の感染症疾患への対応力を強化します。独立行政法人医薬品医療機器総合機構PMDA\*について、現在東京にしかない評価機能、審査機能を関西支部にも付与することで、今回のような感染症流行時にも迅速な医薬品開発ができる環境を整えます。

※PMDAとは、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し、安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う機関です。

## 3. 大阪万博を見据えた成長戦略

関西国際空港に大阪万博サテライト会場誘致

関空施設充実と活力を泉州発展へ繋ぐ仕組み

泉州の人モノ歴史文化の粋を結集させ、世界に泉州のポテンシャルを示すことで、新たな人モノ金の流れを泉州にもたらし、経済活性化を図ります。また、関西国際空港の機能拡充と施設の充実で、パワーアップを図ります。

## 4. 教育への投資を

高等教育まで無償化

給付型奨学金の充実で学生の経済負担を軽減

習い事助成クーポン制度の導入促進

政治状況に左右されず教育機会を確保するために、高等教育までの無償化を憲法に明記します。また給付型奨学金制度を充実させることで学生の経済的負担を軽減します。各地域の実情に応じた多様な学びの機会を得られるよう、大阪市が実施している習い事バウチャー制度を導入する各自治体への財政的支援を行います。

## 5. 自然災害への備え強化

地震による倒壊危険インフラの早急な改修

激甚災害指定の要件の見直し

各自治体への津波避難路整備支援

津波や土砂など危険区域の世帯に個別受信機配布の義務付けを推進

## 6. 泉州のインフラ整備

阪神高速湾岸線延伸+紀淡海峡大橋

京奈和関空道整備

関空南ルート整備

大阪を元気にするため、維新の会は走り続けてきました。大阪の未来を見据え、万博成功に向けた準備を進めるとともに、交通網の整備を前に進め、安心・安全で快適に暮らせる元気な泉州をつくっていきます。

